

天保十三年
五月

山本

川安記

黄浩

早稲田大学図書館
文書 27
A 84

2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50



廿六年

三月十日

廿六年

三月十日

一退下大山_山立寄

山縣伯_山西會_山今日就

住司法大臣_山願_山通免

官親他樞密院議長

方西御泊初任海軍大

臣仁礼_山樞密院

一玉川堂友子會_山

出席

十二日

一午前園部_山綱紀_山束

午叙_山

一制衣_山奉師_山束

皇太子_山獻_山上_山四書_山五

經_山秘_山諦_山

可祝_山再行_山十二_山鷹_山見_山

歸

十三日

省中政筆云、説

勝海軍ハ記リ黒田

ト指桑且身却リ要

使寄贈ノカイハ、

之千九百九年版印、目録

者借用云

十四日

國寶長装、流一稿

徑師登、批状ハ、成不

約束

西郷伯清國公使伊藤

總理井上毅文相、

刺、

十書

皇太子殿下、大八

才、你、書、

、名、食、局、長、

持、大、方、乃、日、葉、山、

三十日休書
山合局長
清越

抵大子乃日葉山

御歸京

十二日

芳川殿之親任司法大臣

晴白窓臥在琴弓西

心使書信易也

大八西要一月廿日信

到達平安無事一

太向浮遠祝

十七日

大八書信

十八日

烈風吹者廣土修り

不已日色晴淡如

夜

十九日

藤野房次郎来去ハ
西舟行ハ始末ヲ聞来

午後清公使由汪鳳
岩深ヲ訪テ談話劉
廣海通辨 李任
方於在天津河津ヲ
待母極々奉之旨罷田
ニテ多ク

二十日

松方此頃歸京ハ旨是
内御見スルナリ

郡司其々見行可祝
等ノ御川上場無送別

二十一日

黒田伯ヲ訪ル鬼燈一
聲時達

鉄道層々人々

警時達

鐵道層漢人ハ也
餐長之御有為選

二十一日

西御海軍ヲ訪不
達

二十三日

新賣新甲ハ大ハシ
陝西身行ヲ載ス

奥東中官大上リ
太子ハ敵本ハハ許上
為出ニ来アハミ来

大山仰野鴨一羽

ヲ略ス

二十四日

立見事奉月朝為念
也辭表進達於前
叙之候

廿五日

黒田昨日官舎引拂、電
官中より電話より同
三田初郎、在り、其
午後三時強、其、停
未亡人面會、婚、礼、大、出
し、ヨ、マ、ヲ、モ、リ、ク、シ、

牧野伸郎、七、祝、的

吉井幸兵衛、五、祝、的

石上

松方、病、氣、後、乃、於

世、床

黒田、乃、昨日、官、舎、引、拂

鉄道、廳、海、に、り、し

仁、礼、館、向、に、逢

清、公、使、鎌、倉、池、持、水

不、立、し、乃、不、能、助

廿六日

清山佳景... 不立... 乃不... 然... 昭

廿六日

有新梅... 流... 梅... 金... 德... 日... 瑞... 合... 博... 事... 博... 名... 以... 博... 宅

廿七日

... 行... 下... 經... 市... 庭... 園... 讀... 表... 悅... 心... 甚... 也... 三... 浦... 安... 素... 臨... 松... 在... 傍... 向... 老... 口... 梅... 花... 一... 訪... 滿... 井... 德... 呼

廿八日

... 宋... 人... 以... 局... 長... 素... 亦... 沐... 職... 之... 前... 解... 矣

桂
言

晚方再反先
非職

之書

光孝國內廷

恩賜金

古山任
再

再

知

招

思

物

東

益

五

勝

三月廿

藤原氏宗段送其

三月廿一日

波成山岩倉具足

早晩カスミラ桂潜木

高田阿彌

ヒニ本高所長波

鶴一五里河内

カスミラ

林

北澤文成

疾時伯曾

杉孫孝

若菜政通

三十日晴

荇澤政通

古原孫

大八葉

同山

三十日

森

芥沢以温

森

足井忠志

森

四月下土
立花種義

二十日

森

夕飯之段母不哥

森

西海
新沢村

二十三日

多良山
松尾相見

三庫

安

二十日

泉崎文

首次治

帝子古名集

廿日

廿九

宮内省出款家信
同日後移路手

侍從長徳大寺恩賜

金之礼具令名

河新花坊深管口

寺方大臣不取達高

且一禮勝能内

以出而手是下

年好深之減其来

知好之見舞也

若深より同舞之通

見舞之了

物が豊作

歌本

三十日

年長若坊之舞之

より是上の書力

先出之

古知果初元可即地お誦
大実おれ七系評音理を
多れき考方おり一込也

三十日

去方大匠に記る事北城
に於て身之息絶さるるの息
也

岩念に名北長也すを

黒田に信以事身

一體より明の相

ナ時也

重の心は想ふこと

其北と身とを流し沈む

十分南方氣を出

元氣を結成せよ

四月一日

首沢に膝を置く

差出た交りも白

意は去りてし由也

白川
仲

芥沢端書

左多

三浦

五

三浦

之

神

神

神

神

神

神

神

神

神

廣一 諸佛心

行 識 之 頃 之 母

志 時 之 寺 之 頃

寺 行 公 子 之 頃

七 日 午 時 有 雷 子 雲 雨 田 畝 豐 收

一 如 成 了 理 樂 寺 之 頃

百 變 之 發 人

不 逢 寺 所

大 殿 之 頃

於 殿 之 頃

大 山 之 殿

大 殿 物 民 知 彼 返 報

八 日

伊 奴 法 師 夜 間 有 異 光 照 寺 之 頃 寺 中 有 異 光 照 寺 之 頃

九 日

伊波... 移... 日...

九日

...

...

十日

...

十一日

...

...

十二日

...

...

十三日

...

...

十四日

...

...

...

常樂軒... 道... 宣... 宣...

十一日 土曜

林... 寺... 師... 山... 寺... 德

平... 光... 生... 寺... 山... 寺... 德

淺... 草... 觀... 者... 山... 德... 寺... 德

真... 十... 方... 居... 飲... 寺... 德

志... 郎... 原... 坂... 中

十七日 土曜

園... 櫻... 浦... 開

十... 日... 土曜

十一月廿九日

夜間梅花盛開
二月深梅風北搖
亂 於祥事件

二月廿五日 君向信下

十月九日

孝師室庭

入月三日 島津齊彬
往中ノ橋ノ邊

二月廿四日

竹匠世傳

年好 安島屋ノ信

二月廿一日

七ん本 昭
昭来
土州ヨリ帰
三年紫葉子来
吉井 舟本
晴山ノ信 石林
二月廿一日 好

西陽館

園橋未散於天海妍

於之輝々

西陽館

本回沈確乃給台周款

の遺

海以田々地々

山

山々々々々々々々

。物運意田に

思向より有便以留婚

来。相里海々訪

廿三

法修成り

法心修成り

送。金杉地端又の地方

可相原古蘇軒の七女堂の七女堂の

廿四 半陰半晴

廿五

西陽館

海江田行義
存氏原以

廿六

廿二

湖月身

長生神相飲

上杉伯蘇山美并氏

廿七

行

東之良像

行

荷行政通

行

上杉伯

書數
第廿七

花房義實

廿八

廿九日
亥年 桂 游

三十日
見別莊心竹簞
岩合之根跡
桂在之

廿九日
亥年
長義
内屋了子也
社而回上子也

廿九年 丑月

林孝年 丑月

一日

使古由... 岩倉具定云
此... 芥川政温
...

二

集... 湯野川忠世
行... 与杉 公
...

三

... 孝師宗徳
... 湯野川忠世
... 水野廉平

四

... 岩倉具定云
... 接存比場
... 水野廉平
...

... 湯野川忠世
... 芥川政温
... 北澤 正成

音

高川長政

白門勝文

音

少海得親

音

音

音

音

音

音

音

音

音

音

音

音

音

音

音

音

音

音

音

音

音

音

音

音

音

晴
妻
月
...

訪
北
...

十日

北
...

本
...

...

北
...

目
...

大
...

...

...

...

北
...

...

...

十日

...

法公復持本卷分

十四日

平尾 正信
小倉信 近

午好 拜
青山 拜
見 奈良 原
岩 合

大久保 十子 宗
多田 隆久 意
計 庄 全 平

清國 梨 燕 日 泉 彦 誠
書 午

森 園 昌 純

十五日

法 公 復 持 本 卷 分

戶 田 秋 成

北 公 復 持 本 卷 分

法 館 到 慶 寺

岩 公 復 持 本 卷 分

平 尾 延 首
劉 慶 坊

十六日

北 沢 正 誠

法 公 復 持 本 卷 分

汪 芝 房 使

新 使 本

立 花 種 為

多 如 本

水 野 康 平

八 月 廿 一

十七日

法 公 復 持 本 卷 分

官 本 廿 一
伊 為 禮 記

冊 國 家 御 書 第 一

岩 合 具 堂 公

湖行

十七日

伊勢

国官御書
冊抄

完全 具云

光房 示我

森田 昌經

立花 隆房

以子 竹号外

形跡 大石屋
しと 防経
の 津在り 要

十六日

高 陸 寺 也

共三箇社 株之 各 代 以

石 岡 伊 代 治

友 于 居 野 八 人

十九日

二月廿日

大 八 日 寺

采 由 東 助

小 津 津 長 政

黒 河 内 信 隆

送 大 公 公 公

西条通海三平

二十日

友于曾十三人
森長義成
丹波氏政
内府氏政
今井氏政
岩谷氏政
小堀氏政
榊原氏政
青柳氏政
白米氏政
古川氏政
米良氏政
不兼氏政

子存
齋藤氏政
上出氏政

十川氏政
初之也
上杉氏政
公。

二十日

青柳氏政

以初也

三十一

寺師宗德
相才田河行

有

三十一

此年有本為不淨
初の世も古なり久未

相才田河行
程も遠

八〇年
重花七十三
六の末年

孝師宗德

係科宗

長政

五十一

下
花房義賢

寺師宗德

相才田河行

陰防宗師宗德

二十三日小雨

行

三越海濱

行

共立白鷺

行

堀老町三越

北

遠目鏡

雙

八人遊人

子

勝伯

子

黑田伯

支那料理 大腕
點心二振

呂増祥

上泉 孝吉

上泉 忠吉

二十四日

五

黒田伯

五

呂増祥

黒田伯

打田平

二十日

三

下

黒田...
打田...
...

二十日

三ノ里

水野康平

北村

昌坊

書

西河

北水

上泉

北村

木村

廿六日

石

青岡

三浦

三浦

...

...

...

...

...

...

廿七日

...

...

廿一日 甲子

分千尋常 中長 長 竹 子 子

下金

山崎 新 大 印

千天行

勝 西 大 力

本の返り

岩倉 日 吉 道

多事 本

毒因 昌 氏

廿二

少 食 午 時 以

毒因 昌 氏

日 本 七 一 五 拾

三十日

不道

新 金 平

却 矣

水 野 扇 平

野 村 出 雲

山崎 新 大 印

三十日 卯

三日月 入 巡 遊 石原 輝 人

朝 日 了 了 江

河 津 卯 之 印

様 三 錢

四 海 也 三

多 石 あり

花 房 義 相 氏

築 北 道 主

劉 彦 彦 氏

新 大 印

井 上 卯 之 印

長 遠 侯 三 四 三 錢 共 木 村 鐵 下 亭

劉慶
井上

長
木村鐵下

柳便
柿崎

山田

六月十日

大工二人

カニ師一人

北河正成

清公伴汪鳳

矯澤

石原 静人

二日
鹿嶋島人

三日

四日

訪 木園昌純
訪 刺島隆臣

訪 三浦 安

訪 法公佳館

訪 公使

訪 嚴作實

訪 呂增祥

訪 北澤正誅

訪 知事館署

訪 松田久米

訪 和根清書

訪 北澤正誠

訪 江善壽

訪 智徳技本居坊

六日

八木 金子傳吉

八木 長政

八木 古原久米

八木 古原守伝

七日

七日

高政為年

梯茅為係

中伏

法在學侯下鉞

三枚

送

晴 多子

發

幸久中子

何对者

立石 事行

噴火山(赤)石之

十日 雨且晴

午前市街 別分

午後 講先温室

十日 雨

午前 山竹 考 辰

立 辰 辰 辰 辰

立 辰 辰 辰

幸島 山竹 考 辰

立 辰 辰 辰

立 辰 辰

山内山内
上杉様
定并吉也

二十

山内山内
上杉様

山内山内
上杉様

山内山内
上杉様

山内山内
上杉様

二十一日

山内山内
上杉様

山内山内
上杉様

二十三日

山内山内
上杉様

山内山内
上杉様

山内山内
上杉様

二十六

花鳥の海に 東久世の海

山を引く 黒白の海

其の海に 岩打の海

其の海に 七の海

二十七

其の海に 岩打の海

其の海に 岩打の海

其の海に 岩打の海

其の海に 岩打の海

其の海に 岩打の海

其の海に 岩打の海

其の海に 岩打の海

其の海に 岩打の海

其の海に 岩打の海

平田の海

二十

徳島
日下

廿六日
可殺

二十
平田

山形

山形中津

山形

山見

七日
木村

十日
精町

川口
古

三浦

黒田

花房

古

廿九

月

古

山見

古

山見

三十日 晴

東海舟

極位退印

花三三

常所院採由

葉十

差集

子十

力十

至密料

出所採由

長以之

榮道行

古及之

二屋子傳知返知

三傳

自是志州

信少之

事之

保科之

勝訪本

上杉三位

九斗

七月

甲州市常盤町

經史諸好屋實為内藤清吉

北橋路南橋下湯洗鉢

二日 九十五

午時迄

黒井清彦

五時迄

板津山

北橋林作

馮國軍

三日 八十九

楊方一五

方八代古細彦

西山方色婦

北二水

多然

彩五南陽

寺前

勘定

岩井

徳

竹掃除

北橋

亞細亞

柳

山

及

按

梅子月少...
六〇

行...
五...

按...

〇四...
所...

〇三...
...

〇八...
...

辭...
朝...
...

名...
...

林...
...

小...
七...
...

...

朝...
...

朝...
...

...

...

何日 劍箕燦
年二 雁土行

年八 才太錄

八日 七十九日

海以向行我

無身 帶深亮之

板垣自以仰

多乃世直統

柳原新友

平田親龍

本島長龍

平田多介

海以田給

晴海子

羽多權造

度以波松原

九日 晴矣

所回 晴矣

岩井 晴矣

常以 晴矣

七五回因

乃能一上大河

物、ハ、リ、キ

相与為名

同、ハ、益、勝

物、子、也

己、ハ、能、カ、キ

上、ハ、忠、者

十一日

物、子、也

大、野、場、也

参、加、也

心、身、心、也

物、子、也、ハ、リ、キ

也

小、森、沢、也

常、西、行、也

九、割、也

希、回、也

大、鳥、也

一、回、也

初、島、也

为、人、也

信、川、家、也

十回

四、ハ、リ、キ

北、河、也

五、ハ、リ、キ

阿、福、也

六、ハ、リ、キ

田、中、光、也

七回

青、山、也

川州

寺師 宗徳
大徳寺
三河

十六日

九十三

北洋

北洋正成

林記

此火... 移

十七日

物子

車之

明

柿葉家

小

保科

地

富内

十日

大八

五回

八日

山

五日... 香...
ハ口... 上... 家...
...

山... 山...
...

紅葉... 亞細亞...
...

十九日 午後 小雨

西洋... 東竹...
...

大... 花...
...

粉... 花...
...

山... 山...
...

二十日

植不^{（紫雲）} 植不^{（心む）} 植不^{（心む）} 植不^{（心む）}

祝三三三

とあまふ

重生状
古知久

才相生生蒲
菊海子

松大雨三十日
畑物等養生

二十日

物那申歌
大久保
畑物等養生

一ノ二ノ
地連節
古夜久米

米餅行
黒井源市

池田不校

米俵行 黒井源平

二十首 在署

以島水 可三介 詠行 祝三介

既了言 柿出寄家保 伴板光着

一三四 卒 采女万世 君記 侍 公東 吉吉

悔行 物如伸臥 返礼 七方那心侍

炫秀 在署 板光 確存 心 書新行 出古風子印卷

竹斗

定著

皇太子陛下御書

七好

青山好理葬

或(多)

了訪

海江田信義

然所、紙、實

孝(半)

西木村系

率(業)

足月并(知)

以(海)

行

國(新)

一(苗)

紅(葉)

心(對)

心(小)

林(四)

高頭忠造

江川清(守)

取(取)

物(神)

之(回)

言(島)

川(合)

皆(七)

廿(六)

九(年)

音(江)

訪北城
北澤之陣

与仍 菊河

多功 勝四舟

林以白 昔昔者

一全六田 屋行海路
家叔十人

長以八舟

北城 北城
北城

北城 北城
北城

北城 北城
北城

三才口

北澤之誠

北澤之誠
北澤之誠

北澤之誠
北澤之誠

北澤之誠
北澤之誠

共行

古以久采

劇義臣

三才日

上水物也 尔为物也 中国国也

江上物也

可祝为人

古物

古物也

古物

古物也

八月一日

尔为物也

尔为物也

尔为物也

尔为物也

尔为物也

尔为物也

二

尔为物也

尔为物也

尔为物也

尔为物也

尔为物也

尔为物也

尔为物也

尔为物也

尔为物也

不^二日^一兩
枝本^二部^一

花^二部^一 向^二部^一

三股^二部^一 鹿^二部^一

程^二部^一 到^二部^一

由^二部^一 所^二部^一

四日

木^二部^一 材^二部^一

枝^二部^一 解^二部^一

枝^二部^一 本^二部^一

大^二部^一 流^二部^一

物^二部^一 材^二部^一

保^二部^一 材^二部^一

思^二部^一 材^二部^一

三^二部^一 材^二部^一

不^二日^一

年

三昭虎

今

養賢院
家藏
年

本武揚

里并

長政

七

按

久末

國

元本

附

長

少

東高

共

九

五

持

手書一巻出たるなり

黒井内子

風日堂

○ 黒田法隆

九月廿一日

山縣哲朗

徳川家

入海地

九月廿一日

十日

芥川佳太郎

月島

理何味

去

三原

山縣

去

九月

明徳元年

三月

二月廿四日

東原屋水掛

上水掛

人定

徳木屋

目録

目録

去

井ノ原

井ノ原

北河

大和田

十

九月

井ノ原

井ノ原

成就

上水掛

西原

招

江川

大行 大山 麓

十四日

中村 常形 三物

江川 土

十六日

土 江川

十七日

江川 土

十八日

中村 土

物 市村

山崎 中村 谷津 去

物状

市村 谷津 去
右 為 七 月 三 日 死 亡
三 日 回 生 死 時

山崎 山崎 去

山崎 山崎 去

山崎 山崎 去

雨

枯木 心 之 人

江川 山崎 去

山崎 山崎 去

おつや

山崎 山崎 去

十月

山崎 山崎 去

山崎 山崎 去

山崎 山崎 去

十月

山崎 山崎 去

山崎 山崎 去

山崎 山崎 去

元在雨宮丁卯の子
申を奉る

今言の地不也
三言の地不也
即日指指不
西海の卯日

多木多々
長以何も信者

十七日死る
知る
馬子信者

海先同運水
当所
伊原国

二十日

大々 有人

伊原国

清復 能
江風 深

保皇 皇
保皇 皇

二十日 雨 風

木材 信者

雨 風 大 小

長 信者

長 信者

知 信者

伊予 長崎 高木

知礼 弟
長崎 高木
伊予 高木
長崎 高木

知礼 弟
長崎 高木
伊予 高木
長崎 高木

二十一日

湯原 大之助

判 大之助
伊予 高木
長崎 高木

伊予 高木
長崎 高木
伊予 高木
長崎 高木

伊予 高木
長崎 高木
伊予 高木
長崎 高木

伊予 高木
長崎 高木
伊予 高木
長崎 高木

伊予 高木
長崎 高木
伊予 高木
長崎 高木

長崎 高木

伊予 高木
長崎 高木
伊予 高木
長崎 高木

伊予 高木
長崎 高木
伊予 高木
長崎 高木

伊予 高木
長崎 高木
伊予 高木
長崎 高木

二十日

伊予 高木
長崎 高木
伊予 高木
長崎 高木

伊予 高木
長崎 高木
伊予 高木
長崎 高木

京行 去国名氏

旅次行所 列名之経臣

甲老行所 西行

不文 本行

所行 本行

所行 本行

二十日 本行

系行 本行

小田行 本行

七條平六

利行 本行

五所行

山行 本行

七條平六

本行 本行

保科若一

本行 本行

山出... 西山... 林...
西山... 林...

山... 山...

二十... 山...

池... 桂...

大... 山...

直... 山...

十二... 山...

二十... 山...

二十... 山...

二十七日... 山...

七... 山...

大... 山...

伊... 山...

吳... 山...

二十八日... 山...

金... 山...

精... 山...

二十九日 晴 十三

池之藁を引し

植木を三人

松二本根廻し

梅子徒生

竹之植回坪

阿徳子新種

糸之増際木

車馬常

池之水を入

古多又木

林檎石物

林龍之印

刀タノ子

礼了花大御

井戸水汲

明月来池

三回通

有火植木

昨日水

大八西安

洗濯時

山形其堂

分才

大野

七

日本橋

七

山形

七

山形

七

山形

七

山形

七

山形

七

山形

七

山形

三十一日 七月廿九日
五十年 海客

口片物ら島島

口片物ら島島
輪子重轉
車夫常轉
お流日あり

九月十日

雷鳴雨あり

池、無事

おお供を中あり

下より起り

車夫白雲あり

日暮

岩井忠五

吹野中
お流日あり
之湯泉志あり

於起流交較橋流

樹あり池あり

外二人
お流日あり
お流日あり

三十一日

お流日あり

お流日あり

お流日あり

お流日あり

お流日あり

お流日あり

お流日あり

お流日あり

四日、十五

於林、病、林、龍、是、主

望、本、古、久、未

命、以、一、揮、因、武、孫、集

主、為、十、奇、二、所、以、致、風

吾、是、本、治、氣

新、山、見、考、威、院、極

用、電、機、除、時、風

百、日、紅、發、為、紅、淡、是、也、洪、也、卷

古、柳、治、也

繼、代、變、久、木、村、所、平

六、日、生、十、五、元

江、州、宗、長、也

少、分、所、長、也

金、子、金、望、也

夫、子、山、也、大、院、新、也

保、科、特、一

步、月、日、日、京、也

午給考考
保科考一

青月と海菜片
墨書考考
高知の行
河津の行
河津の行

七日
大島詣り
大島詣り

江戸川
約言包揚外見
一帖古書
一帖古書

目鏡
目鏡

日本行
日本行

江戸川
江戸川

江戸川
江戸川

日本行
日本行

本行
本行

本行
本行

保河卷之

上并全書

礼收
礼收
言即上

书板礼同

江州法大也

八日

香柳嘴

密初唇一

梅林大工云

柳崎家保

小若七
吟用
阿文
比辰
也了
竹也
去死
知也

九日 土曜 七十六

島民力

里女師

制法

江河法吉

操麻

二十六日 黄表紙
一枚一枚三枚

揉麻 什子賣

一六十分 黄道城 什子

三枚一枚三枚

一六十分 厚皮菜 什子

三枚一枚三枚

一六十分 葵菜 什子

十二枚一枚三枚

一六十分 厚皮菜 什子

一三十分 江川二帖

一三十分 白扇 什子

一三十分 白扇 什子

一三十分 白扇 什子

白扇 什子

一三十分 白扇 什子

一三十分 白扇 什子

白扇 什子

一三十分 白扇 什子

十日 八十六分

刻本師田中改印
 印刷師河津信
 日存揚子文上局承
 其由 其每之月
 修 其後任由出并
 為二集之不足分也
 可教 其信あり
 祝花の祝花
 為書中少々の祝花

十 八 十 六 頁

兄老の為 大島五郎
 五條の道下
 上り改文
 十部 沢川信方の子
 八名群行 其の方信
 其種 萬恒
 青柳 以之信
 祝花
 中子 祝花
 中子 祝花

朝鮮辨理公使金憲轍

中子孫傳
祝

朝鮮辦理公使金憲職

十二日

送之狀輝 大島公使

田中

字吉 丸末

祝花切宅

招梅

冷池

出

十一日 七十四

田中

祝

山縣

祝

書

三

十四 七十四

○ 割本居 木
北野 柳 木 居 柳 木
山 木

寺 印 字 德

山 野 伯 方 所 方

山 野 伯 方 所 方

山 野 伯 方 所 方

十四

九 部 山 木 家 年 居 木

北 海 道 府

山 野 伯 方 所 方

山 野 伯 方 所 方

山 野 伯 方 所 方

山 野 伯 方 所 方

山 野 伯 方 所 方

山 野 伯 方 所 方

山 野 伯 方 所 方

山 野 伯 方 所 方

山 野 伯 方 所 方

十三 七十三

山 野 伯 方 所 方

山 野 伯 方 所 方

山 野 伯 方 所 方

二十 七十三

三十四

知榮本居

山本成典

孫

正人井忠重

孫

田ノ村

孫

石ノ村

三十四

十七

中御持中

海江

孫

青柳

中野

保田

十六

所

当

中

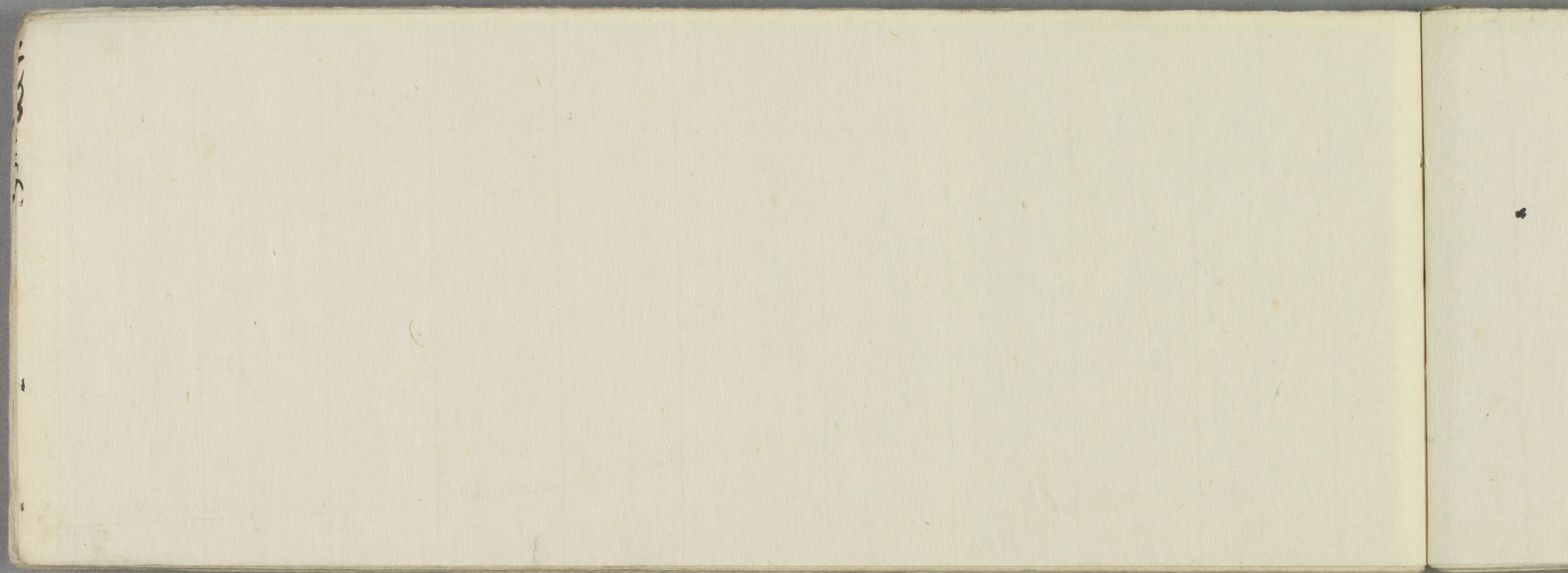
礼州

山崎屋とるよ

三つり

海尾屋

下川



九月

九月

十九日
二十日
二十一日

十月

拾遺録

於市大亮
逢

祝我木

十五日 日曜

初九日 拜
伊作
國書院
長以
青
國上
行
十六日

十六日

於市
下
口
燈

十七日 神嘗祭

廿一日
廿二日
廿三日
廿四日
廿五日
廿六日
廿七日
廿八日
廿九日

廿九日
初一日
初二日
初三日
初四日
初五日
初六日
初七日
初八日
初九日

十六日 晴

廿九日

重陽宴
紅葉館
紅葉館
紅葉館
紅葉館
紅葉館
紅葉館
紅葉館
紅葉館
紅葉館

紅葉館
紅葉館
紅葉館
紅葉館
紅葉館
紅葉館
紅葉館
紅葉館
紅葉館
紅葉館

十九日 晴
廿七日

芝居園刀何れ
之留中者如三節

十九日 晴 暑氣

と宿元氣勝 安き日

昨夜紅 午後及 馬車中 山 告

古多 久平 山 告

金曜 天子行幸 馬車中

二十日 晴 暑氣

と宿元氣勝 安き日

昨夜紅 午後及 馬車中 山 告

古多 久平 山 告

と宿元氣勝 安き日

昨夜紅 午後及 馬車中 山 告

古多 久平 山 告

土曜 二十日 晴 暑氣

所及 古多 久平 山 告

業師

朝鮮公使金恩純
書述金恩純

日曜二十一日 九月十三夜
海口

不晴 荒尾精

二十三日 西風

黑田信
鮮東

訪 清公保館行
中保政恒

上杉謙光誤會
松平永德誤會

二十日 九月十五夜
大雨午始善
晴相明日出

小島所切鍋
朝鮮書記官恩純

宮城縣陸羽國
渡邊河所

安信東小者

多此詩集
朝鮮書院官屬紀

宣城縣陰功國
渡過波所
安倍東小者

二十七日快信

石橋一處坊名
思田係傳來
略考のしるの附出
菜山香
芥澤以温

二十六日好信 洗方雨

祝賀原江江來
思田係傳
便之也

何之也
山入念心念
大觀新集

水防
思田係

祭
思田係

二十七日快信

入木
大野齋傳章
為のしるの附出

書物并詩集
白角寺柄玉之紙

後居福祿
德不虛也

來心

其得正味

保料為乙

柯年一瓦
容存身是

見舞之
安芳

周轉漢
思如行中

三十日陰所

林麻子

祝三

土月十日存時

園子坡觀南

於竹

音自
所一
安

或
好

阿清

不立
訪午後
且回
三陣

不立

不立

不立

不立

不立

不立

不立

不立

不立

不立

不立

不立

不立

不立

不立

不立

不立

不立

不立

不立

不立

不立

不立

八日
物置下張
梅林下工
人

滋谷米者

物置... 南壁... 北口...
梅林下工
人

九日

梅林下工
人

梅村店
心

上白水
中
者

十日
正行... 家...
大野

十日

夜半雷
梅雨

梅林下工
人

東... 谷...
者

梅林下工
人

梅林下工
人

十一日
土曜

梅林下工
人

...

...

...

十二日
日曜

...

浅草三善地
松部
女見

十二日曜

松林大工の人

十月十日

大八五枚

上中

寺師

弄

年

王

田

祝

来

可

黒木

日

十月十日

松方

日

人

橋原

木村

上首

本位

古、信、四、十、四、五、

五、五、五、五、五、

子、前、字、生、每、人、事、本

常、者、也、後

梅、子、種、庭、也、信、泉

者、也、德、也、知、泉

長、政

德、你、祖、也、也、

久、之、花、也、原

五、五、五、五、

十、五、五、五、五、

五、五、五、五、五、

音、由、也、也、

馬、也、也、也、

是、也、也、

子、也、也、也、也、

可、也、也、也、

例、也、也、也、

子、也、也、也、也、

例の事所屬

上ノ山星子廿二日
雨

柳心井柳心
不之竹柳心

後園景
上ノ山星子

晩の相入り
作知多風
里の田舎

琴曲あり
竹集甲子
宅の徳と佳と
一斗計り

十七日 雨

南の山 竹柳心
木あり

山あり
山あり

山あり
山あり
山あり
山あり

十八日晴 柳風

大徳寺
松方各所
平田各所

御神明
岸向各所
永正各所

十九日
松方各所
永正各所

二十日
小原各所
永正各所

三浦
永正各所

一田
永正各所

三浦
永正各所

伊予名刺

三浦 安

一田三三坊

三十四坊

三十五坊

三十六坊

三十七坊

三十八坊

三十九坊

四十坊

四十一坊

四十二坊

四十三坊

四十四坊

四十五坊

四十六坊

四十七坊

四十八坊

四十九坊

五十坊

日本物産電燈

千代田山

上野山

二十一日

池上初境

桂水何三人

中野原 田部 玄

本村 玄

博多 玄

福岡 玄

長崎 玄

祝 三物

二十一日 漢

種子 玄

小原 玄

向島 植 玄

清心公使重九

之返礼

松平

梅子の竹の子巻

二十三

新堂

松尾相殿

三浦

前田

千代

植木

大野川

相合

二十

佐藤

城

丸太

田部

其状若也 拘固若也

醫由部連

一三二
四五七
六七八

二十廿日晴

晴
福園孝順
谷多野ん

大、八、八、年

立花柱為

勝 女美

祝 花均名

日曜
二十六日晴

可祝子身信
見相者酒行

大持隆平
経集増高

古知
P. 21

大、八、八、年
竹尾

祝 昭事物

井古口情

五言詩言 田部 定占

詩之點刻 上以三位凡

三子 下以五位

身於此之傷

物之三言急也

之國 此不

立花之於造

其意之於

其意之於

其意之於

二十一日

去花之滿 大工 一人

う面心 尾師 二人

手安 福園 若者

谷 干城

後守 親 初 後 少

上段 三平 九

後分親臨初後分

二月九日

上殿及問橋下
實ノ様ノ
大工二人

奉酌
上泉徳内
任世保良
出之
奉酌

奉酌
於後法名
奉酌

三十日雨

紅馬殿
三月二日
於後法名

三月二日

三月二日
於後法名

三月二日
於後法名

三月二日

物林
三月二日

祝
三月二日

三月二日
田中安共

十一月一日

三月二日

三月二日

三月二日

三月二日

三月二日

黒田任爵

二日好時

皇太子降誕 宮内省有事奉

金田親良

杉山親良

菊

三田村方

仁礼景親

黒田河内

皇太子降誕 皇太子降誕 皇太子降誕

三日好時

土佐温

三田村方

相飲

仙掌

三田村方

四日好時 青物

仙翁... 三月...
い... 完... 成... あり

青物... 北... 誠...
四日... 北... 誠... あり

三浦... あり

大橋... あり

北... 誠... あり

北山... あり

勝... あり

黒田... あり

藤... あり

古... あり

丑日

山... あり

北... あり

市... あり

日... あり

金... あり

威... あり

二十... あり
二十... あり
二十... あり
二十... あり
二十... あり

流山心二瓶

長政寺收

共

光石名為

古石久未入心

六日

上邊

土屋

七日

石邊

前多 寺德

男談會

八日 薄煙

詳名在後 呂坊祥元

九日 晴 土曜

植 老 深 印 之

高 深 池 子 芭 蕉

十日 晴 早 風

十日晴日
行字身

節
土
日
風
命

表
二
坤
安

行
二
村
法
下

下
條
白
性

三
十
田
文
也
多
安
也

十
步
三
股
完
也
大
八
百
元
也

長
處
經
師
元
也

土
日
晴
次

四
十
年
以
年
終
之
也
第
一
無
物
也

百
十
年
以
田
平
也

十
之
年
息
下
年

三田村 後山尾山寺

四子村 奥田子後山寺

下原山寺

寺田寺

十二日 晴 小 遊 白 己

大持佛堂

越人 藤井屋

書二局 下條山

立子化屋

下中 白雲山

寺

十七日 晴 小 遊 白 己

古藤久米

十四日 晴

鎌倉遊記 序 七

書院 劉子良

吳昭和 大和 包 非位方

寺 寺田寺

寺 寺田寺

黒井山寺

百四十九頁
後衣
柳舟出陣

黒井橋守

十少。齊河河野

河ら把筆

大八法り

十二日

三浦安

三花位

中修治

副島隆

河河

紅葉

古兵

田行

十七日

鎌倉
品治

十八日

刻多山種臣

伊初看相原

三浦之林各

十九日

帝之御書

傳原

三浦之林各
伊初看相原

伊初看相原

二十 薩定之相月

三浦之林各

伊初看相原

伊初看相原

伊初看相原

伊初看相原

伊初看相原

伊初看相原

伊初看相原

伊初看相原

伊初看相原

漢書卷之七十四

大野 留名

二十九日

年
月
日

伊勢傳文
多向法理
勝安女

月日

桂木

門

祝

上

可

上

三十四日

常

日

年

月

日

二十

青山

海

舊

形

字

木

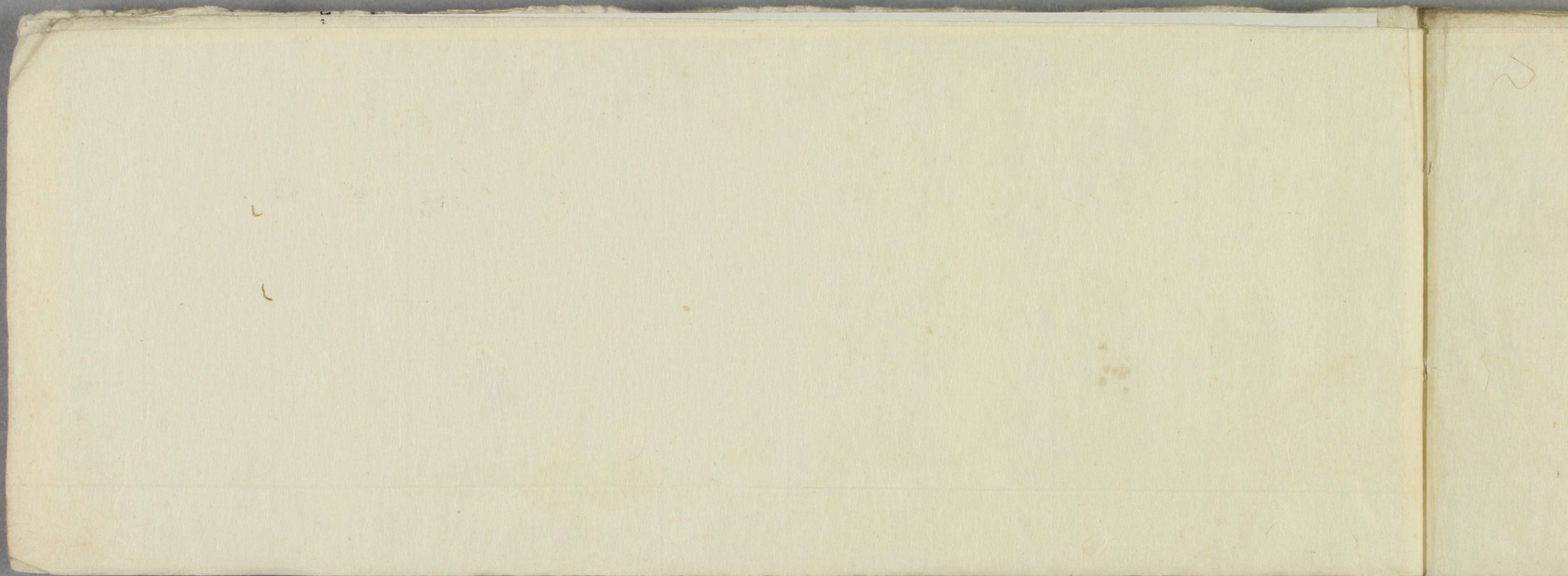
一

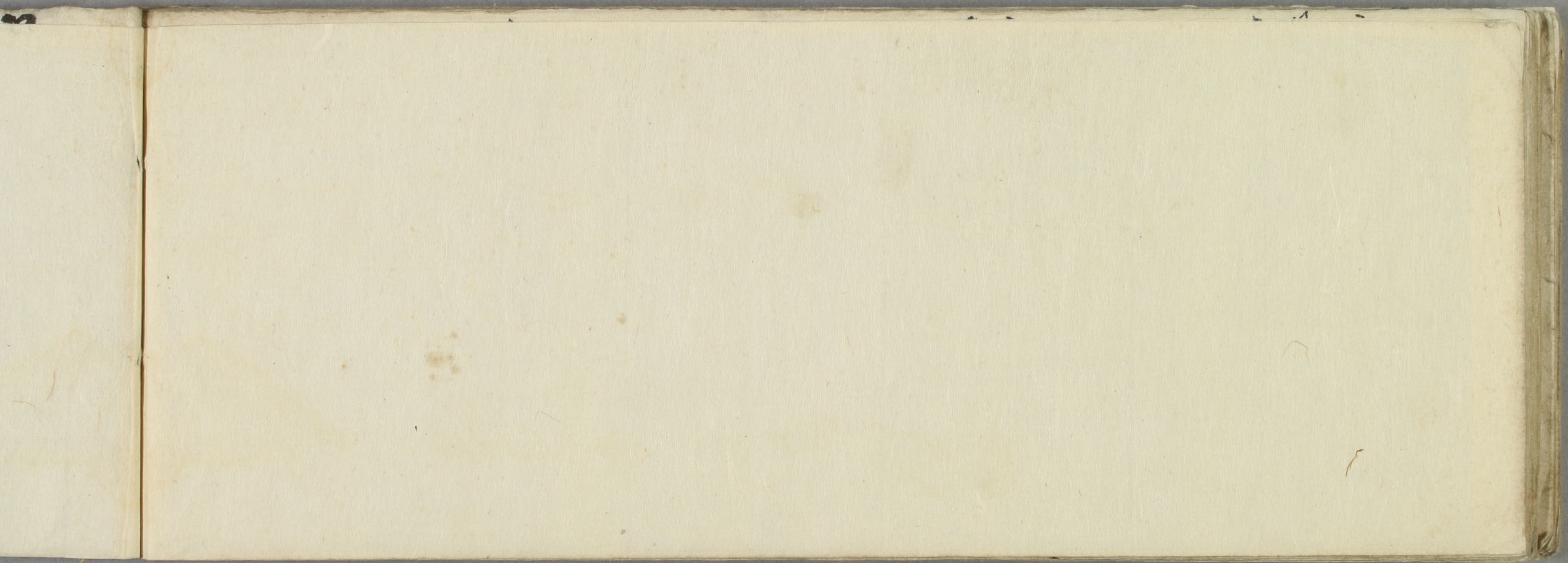
幸

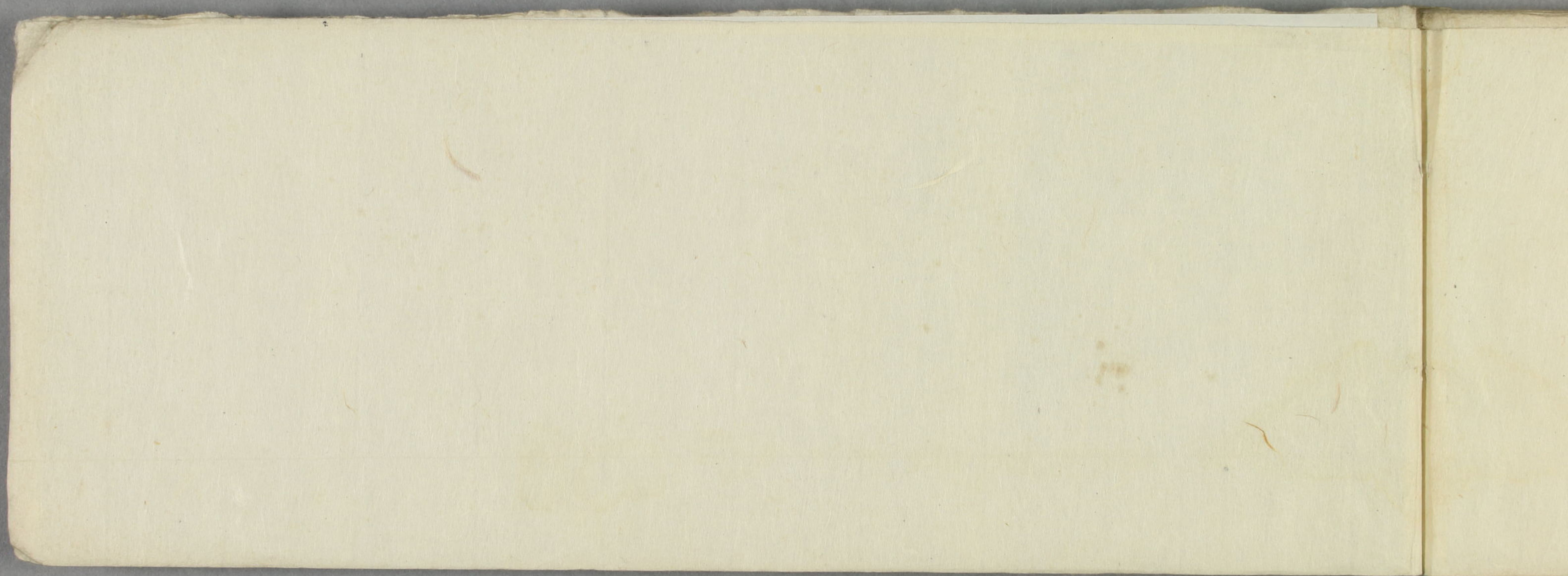
二

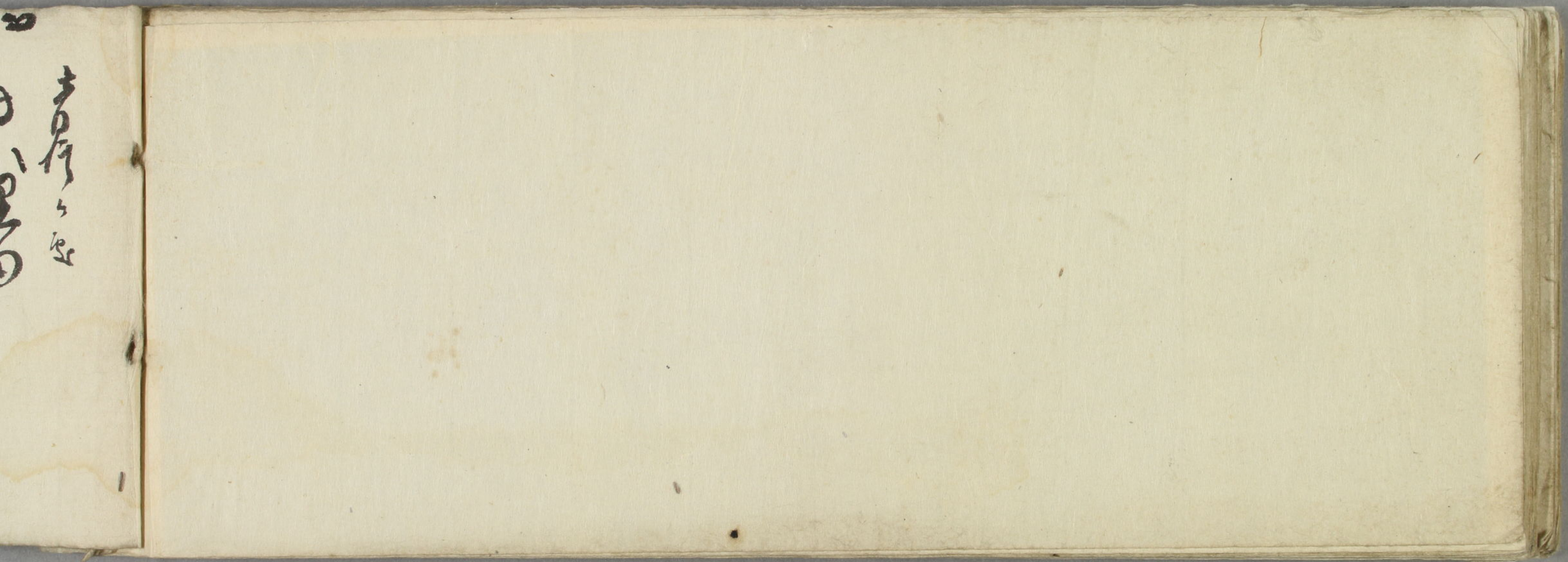
長

保









書
の
序
言

考存之

⊕ 王南

⊕ 伊夜

山縣

⊕ 大山

⊕ 西郷

△ 岩倉

△ 彩

△ 身上

△ 後藤

△ 隆興

⊙ 之浦

⊙ 芥伏

ノ三人

海江田

東之世

本因

勝

百四
八四
千四
八十四
百四
八十四

精
神
三
百
四

金
九
百
四

一
十
年

九
百
四

一
十
月

九
百
四

六
百
四

六
百
四

七
十
五
四
七
十
七
四
八
十
九
四